

## 県立特別支援学校における職業教育の取り組みについて

### 1 平成28年度職業的自立と社会参加をめざした職業教育充実事業について

#### 本県特別支援教育のめざす姿

障害のある子どもも障害のない子どもも、地域で共に生きていくために必要となる社会生活能力を身に付け、社会的・職業的に自立し社会参加できる。

#### 【現状】

##### ①高等部卒業生の就職率（徐々に向上しているが全国より低い）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
県平均	17.5%	25.0%	22.7%	27.6%
全国平均	27.7%	28.4%	28.8%	29.4%

##### ②高等部3年生の就職希望（毎年度8月1日現在）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
県立特別支援学校	21.5%	31.5%	25.1%	33.2%

#### 【課題】

- ・生徒の働く意欲を向上させ、就職をめざす生徒を増やす。
- ・働くために基礎となる力（知識、技能、体力、マナー等）を身に付けさせる。

#### 【目標】

- ・平成30年度に高等部卒業生の就職率28%を達成
- ・さらに、就職希望者全員の就職をめざす。

#### 取り組み内容

##### 1 企業の知見を生かした授業改善の推進

- ・昨年度、知肢併置特別支援学校8校において取り組んだ「企業の知見を生かした職業人育成プログラム」の研究で各校が作成した指導プログラムを有効に活用しながら、さらに企業の知見を生かして継続的・発展的に授業改善に取り組む。

【H27】知肢併置8校研究指定校で企業の知見を生かした職業人育成プログラムを作成  
(協力企業28企業)

【H28】知肢併置8校で39企業(各校3~10企業程度)に協力いただいている。

#### 《授業改善の例》(作業学習)

##### ●企業からの意見

- ・全行程を一人がするのではなく、分業してみてもどうか。
- ・目標を生徒個々に応じて数値化し、製品を規格化するなどして明確な評価ができるようにすべき。

##### ◆授業改善の内容

- ・作業を分業することで、生徒個々の特性に応じた作業ができ、効率が上がった。
- ・時間内に製作できる製品の数を数値目標としたり、製品に一定の規格を設けたりすることで、生徒が明確な目標をもって取り組めるようになった。また、目標を達成することで自信をつけ、さらに意欲的に作業に向かえるようになった。

## 2 「しがしごと検定」の本格実施 … パンフレット・別紙

・「しがしごと検定」は、県立特別支援学校高等部（分教室、高等養護学校含む）の生徒を対象とした技能検定で、生徒の就労への意欲や興味関心を高め、就労に必要な基礎的な力を身に付けることで、生徒の「働きたい」という夢の実現につなげる。

・検定種目および協力企業

①運搬陳列（㈱平和堂）②商品加工（カルビー・イトーク㈱）③接客（㈱プリンスホテル）④清掃メンテナンス（㈱ティ・エム・エス）⑤事務補助（㈱ジェラン）

・検定種目ごとに指導者講習会、検定員講習会、スキルアップ授業の実施

【H27】高等養護学校3校と知肢併置特別支援学校8校において研究指定

①5つの検定種目ごとに手順書や評価票の作成等の技能検定実施に向けた研究開発

②検定の試行実施（検定種目ごとに2回実施）

③指導者講習会、スキルアップ授業（清掃メンテナンス3回）の実施

【H28】

・第1回検定を実施（5種目で149名の生徒が受検）

・スキルアップ授業を11～12月に実施（3種目で71名の生徒が参加）

・第2回検定を12～1月に実施（5種目で150名の生徒が受検）

## 3 社会的・職業的自立に向けた教育課程の研究

（研究指定校 高等養護学校3校、知肢併置養護学校8校高等部、聾話学校）

・職業教育の充実のため、新たに職業学科や職業コース・生活技能コース（仮称）を設置することをめざし、各校における知的障害の教育課程を研究

【H27・H28】他府県先進校の視察と研究の推進

## 4 「しがしごと応援団」の創設（新規）

・県立特別支援学校の職業教育を応援する企業の登録制度「しがしごと応援団」を創設し登録企業の募集を開始する。

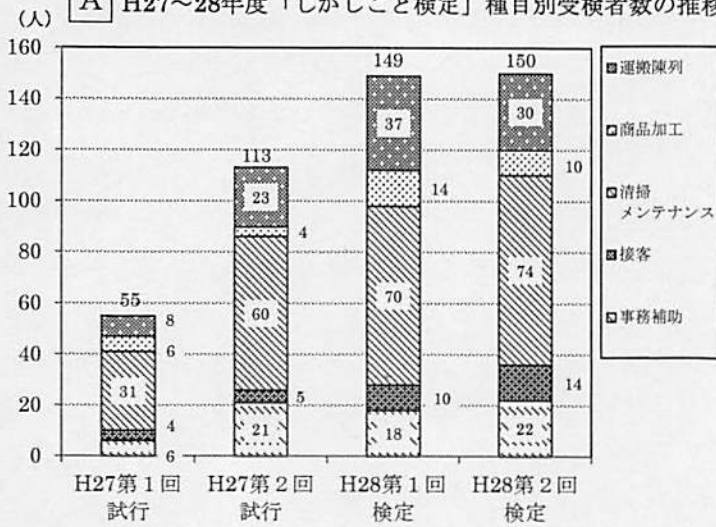
## 2 平成28年度県立特別支援学校高等部3年生の進路状況について … 別紙

・就職を希望する生徒の割合と就職率には相関関係があると考えられる。進級するにつれて就職希望者が増加している年度は就職率も高くなる傾向がある。

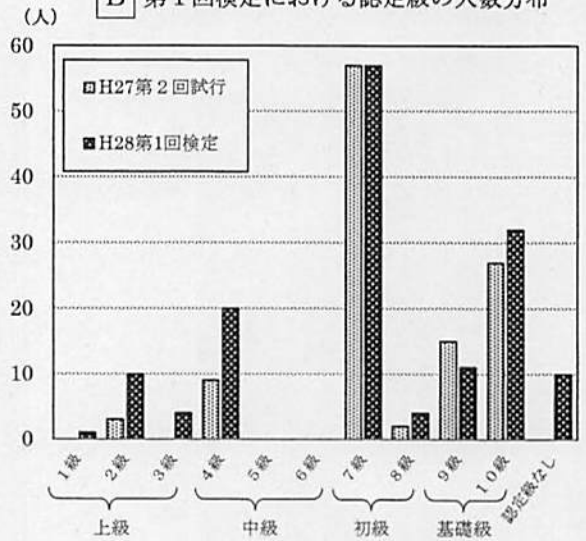
・進級するにつれて就職をあきらめてしまうのではなく、学習を通じて就労することに夢をもち、就労意欲を向上していける職業教育の取り組みを推進していく必要がある。

・今年度の3年生は就職を希望する生徒が増えてきている。

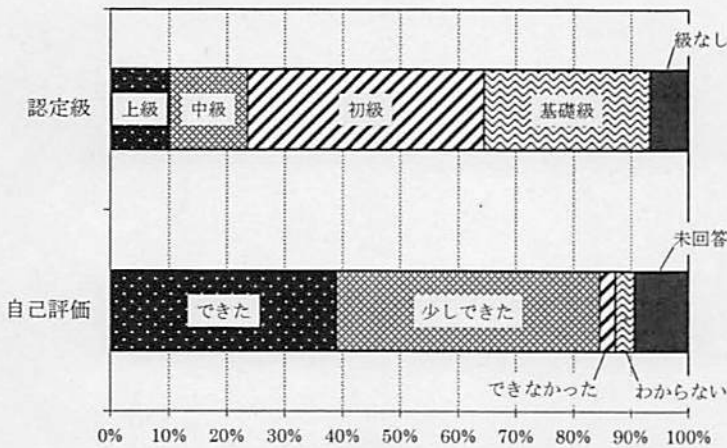
A H27~28年度「しがごと検定」種目別受検者数の推移



B 第1回検定における認定級の人数分布



C 第1回検定における認定級と生徒自己評価の比較

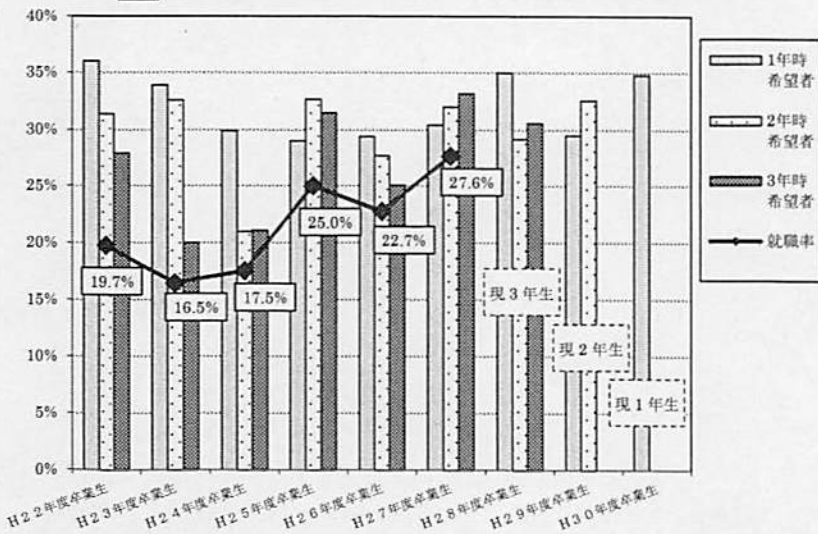


D 第1回検定後の生徒の感想

- ・自分のためになった。
- ・次は種目を変えてがんばりたい。
- ・本番でまちがえてものすごく悔しい。次回はまちがえないようにしたい。
- ・緊張したけど練習の成果は出せたと思う。
- ・将来仕事をするときに役立つと思う。
- ・みんなやる気があってすごかった。
- ・自分に足りない力を身に付けたい。
- ・自分が今どんなことができるか知りたい。
- ・記者にインタビューされて緊張した。



E 就職希望者(8月1日時点)と就職率の推移



F H24~28年度高3生就職希望者数の推移

	8/1 調査 (人)	11/1 調査 (人)	12/1 調査 (人)	2/1 調査 (人)	3/1 調査 (人)	3/31 就職者 (人)
H24年度 高3:274人	58	51	53	53	—	48
H25年度 高3:276人	87	86	84	84	79	69
H26年度 高3:277人	70	73	73	66	65	63
H27年度 高3:293人	98 (33.4%)	95	94 (32.0%)	91	88	81 (27.6%)
内定者数 (内々定者含む)	—	47	56 (19.1%)			
H28年度 高3:283人	87 (30.7%)	89	91 (32.1%)			
内定者数 (内々定者含む)	—	45	57 (20.1%)			

※ () 内は高等部3年生全体に占める割合

滋賀県立特別支援学校技能検定



平成  
28年度

# しがしごとと検定

夢に向かってチャレンジ



生徒の「働きたい」を応援する



「しがしごと検定」試行  
清掃メンテナンス  
「しがしごと検定」試行  
運搬陳列



自立と社会参加をめざして



働く意欲

学ぶ意欲の向上

主催 滋賀県教育委員会

# しがしごとと検定とは？

「しがしごとと検定」は、県立特別支援学校高等部（分教室、高等養護学校含む）の生徒を対象とした技能検定で、平成27年度の試行を経て、平成28年度から本格的に実施しています。

この検定は、学校・企業・関係機関等が連携して開発した評価基準に基づき滋賀県教育委員会が実施するもので、運搬陳列、商品加工、清掃メンテナンス、接客、事務補助の5種目があります。

検定は年2回実施することとしており、各学校では生徒たちが検定に向け、具体的な目標を持ってさまざまな学習に取り組んでいます。

検定当日には、その道のプロである協力企業のみなさまから助言をいただけるほか、直接指導を受けることができるスキルアップ授業に参加することで、就労に対する意欲や興味・関心をさらに高めます。

## 協力企業一覧

検定種目	協力企業
運 搬 陳 列	株式会社平和堂
商 品 加 工	カルビー・イトーク株式会社
清掃メンテナンス	株式会社ティ・エム・エス
接 客	株式会社プリンスホテル
事 務 補 助	株式会社ジェラン

# しがしごとと検定の目的は？

- ①検定に向けて具体的な目標をもって学習活動に取り組んだり、客観的な評価や助言を受けたりすることで、生徒の学習や就労に対する意欲や興味・関心を高めます。
- ②検定に向けて学習を重ねることで、就労に必要な基礎的な態度や技能を身に付けます。
- ③企業や職業訓練機関等の関係者と連携した取組で、検定の有効性を高め、企業からの信頼性を確保して、生徒の「働きたい」という夢の実現につなげます。

# 検定の流れ

学校での取組

具体的な目標を立て学習に取り組み、就労に対する意欲や働くことへの興味・関心を高めます。

目標設定

受検準備

事前学習

第1回検定

各級ごとに生徒に求める態度や技能のレベルを設定しています。

各級	求めるレベル	段階
1級	研修を経て、従業員として即実践(即戦力)で担える段階	上級段階
2級	1級には至らないが、研修を経て、従業員として即実践(即戦力)で担えることが期待できる段階	
3級	基本的なことはクリアできている。従業員として即実践(即戦力)で担えるためには、応用的なことを学ぶ必要がある段階	
4級	基本的なことを確実にできることを目指す段階	中級段階
5級		
6級		
7級	基本的なことを学んでいく段階	初級段階
8級		
9級	しごとに向かう基本的な姿勢、態度等の準備ができていのかを確認する段階	基礎級段階
10級		

学校での取組

- ・自己評価
- ・次回の目標設定

受検準備

事後学習

第2回検定



協力企業の方からの  
直接指導

**スキルアップ授業**

学校での取組

- ・自己評価
- ・次年度の目標設定

就労に向けて

指導助言

企業や関係機関から検定に対する指導助言をいただき、検定をよりよいものにしていきます。

協力機関等

企業、学識経験者、労働機関、福祉機関、  
県関係部局、学校関係者

次年度の取組へ

平成27年度  
試行実施時の

## 受検者の声

練習ではうまくできていたのに、本番ではできなかった。悔しかった。次の検定はがんばりたい。

今度はちがう種目にもチャレンジしてみたい。

最後までやりきることができて自信になった。

練習をたくさんすると、作業スピードが上がってうれしかった。

次に検定があれば、もっと上をめざしたい。

## 平成28年度実施時期および会場

種目名	回次	実施日	実施会場	所在地
運搬陳列	1	8月19日(金)	野洲養護学校	野洲市小南588
	2	平成29年1月予定	未定	—
商品加工	1	8月23日(火)	G-NETしが	近江八幡市鷹飼町80-4
	2	12月予定	未定	—
清掃 メンテナンス	1	8月19日(金)	野洲養護学校	野洲市小南588
	2	平成29年1月予定	未定	—
接客	1	8月23日(火)	G-NETしが	近江八幡市鷹飼町80-4
	2	12月予定	未定	—
事務補助	1	8月26日(金)	コラボしが21	大津市打出浜2-1
	2	12月予定	未定	—

問合せ先

滋賀県教育委員会事務局 学校支援課特別支援教育室

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 Tel. 077-528-4643



滋賀県